

令和6年3月吉日

保護者のみなさまへ

刈谷市立亀城小学校
校長 小川 明宏

学校評価アンケートのお礼と結果報告について

寒さの中にも春の訪れを感じる季節になりました。保護者のみなさまにおかれましては、ますますご健勝のことと拝察しお喜び申し上げます。日ごろは、本校の教育活動推進のために、ご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、12月に実施しました見出しのアンケートについて、お忙しい中、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただいた意見は、今後の学校運営に生かし、子どもたちが今まで以上に楽しく有意義な学校生活を送ることができるよう心がけていきたいと思っております。今後とも、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。なお、主な内容を下記にまとめさせていただきます。

A あてはまる B おおむねあてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない E わからない
【児】…児童《回答数：655名》【保】…保護者《回答数：659名》【職】…職員《回答数：33名》

児童、保護者、教職員の三者に13項目について、ほぼ共通の内容でアンケートを行い、それを児童、保護者、教職員別に、A～Eのそれぞれの割合を%で集計しました。

児童の集計結果を見ると、「よいところの認知」（75.9%）をのぞき、（A+B）が80%を超えており、90%を超える項目も13項目中3項目ありました。全体的には、学校生活を意欲的に楽しく過ごすことができていると判断できます。保護者の結果では、「学習意欲」（78.8%）「生活リズム」（73.5%）、「あいさつ・丁寧な言葉遣い」（78.7%）をのぞき、（A+B）が80%を超え、90%を超えている項目が2項目ありました。保護者のみなさまは、概ね好意的に学校を評価していただいています。

「あいさつや返事、丁寧な言葉遣い」については、児童は83.9%に対し、保護者は78.8%という結果でした。児童についてはあいさつ運動等の取り組みの成果であると思われませんが、地域、家庭でのあいさつ、言葉遣い等を今後の課題としたいと考えます。

「先生は児童のよいところを認めている」「安全・安心な学校づくり」については、保護者の（A+B）が90%を超えており、肯定的な意見も多くありました。さらに、相談しやすい教職員集団、安心・安全な学校づくりを進めていきたいと思っております。教職員は、「体力向上」以外の項目において（A+B）が90%を超えており、学習指導や心の育成、安全指導、清掃指導等に努力していると考えています。コロナ禍後、学校生活も以前の形に戻つつある中で、運動の機会も増えてきていますが、今後も体力向上について指導のあり方を考えて行きたいと思っております。

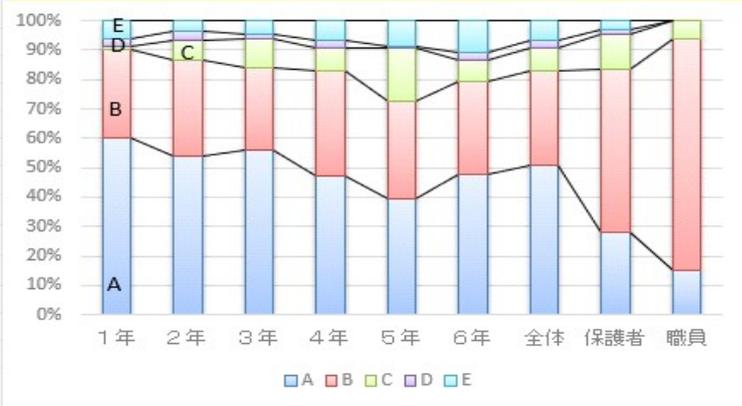
学校運営協議会委員のみなさまからは、「高学年におけるA・Bの回答状況」「経年比較の必要性」などのご意見をいただきました。貴重な意見として捉え、地域の声を学校づくりに生かしていきたいと考えます。

この学校評価アンケートを来年度以降の学校改善につなげ、引き続き子どもたちの健やかな成長（自己肯定感と確かな学力・豊かな心・たくましく健康な体）に、そして保護者・地域からの信頼に応える学校づくりに活用していくことが重要だと考えます。今後ともよろしく申し上げます。

1 自己肯定感・確かな学力の育成 【向 上・協 同】

① 【児】自分にはよいところがあると思いますか。
 【保】お子さんは、自分のよさを自覚していると思いますか。
 【職】児童は自分のよさを自覚していると思いますか。

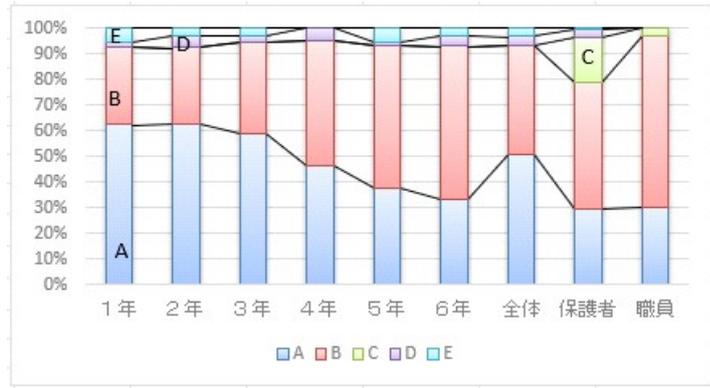
1	A	B	C	D	E	
1年	60.0%	30.4%	0.9%	2.6%	6.1%	100.0%
2年	53.8%	33.0%	6.6%	2.8%	3.8%	100.0%
3年	55.9%	27.9%	9.9%	1.8%	4.5%	100.0%
4年	47.2%	35.8%	7.5%	2.8%	6.6%	100.0%
5年	39.6%	33.0%	17.9%	0.9%	8.5%	100.0%
6年	47.7%	31.5%	7.2%	2.7%	10.8%	100.0%
全体	50.8%	31.9%	8.2%	2.3%	6.7%	100.0%
保護者	28.2%	55.1%	12.0%	1.7%	3.0%	100.0%
職員	15.2%	78.8%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%



「自己肯定感をもっている (A+B)」が児童全体は約82.7%、保護者は約83.3%で、子どもたちの多くは自己肯定感をもっていると感じていることが分かりました。しかし、高学年になるに従って数値の低下が認められました。すべての子どもたちが自己肯定感がさらに高まるように様々な場面で子どもたちの活動を認め、教職員が児童の自己肯定感・自己有用感を育む指導に自信をもって取り組めるようにしていきたいと考えます

② 【児】学習にやる気をもって楽しく取り組んでいますか。
 【保】お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいると感じますか。
 【職】学習意欲を引き出す手だてや工夫をしていますか。

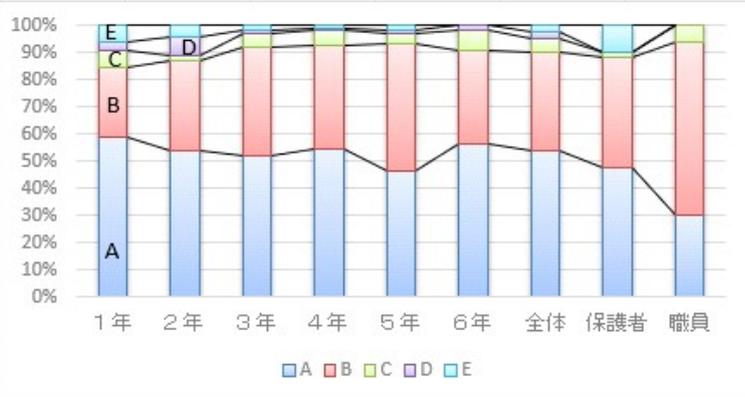
2	A	B	C	D	E	
1年	62.4%	30.3%	0.0%	1.8%	5.5%	100.0%
2年	62.5%	29.8%	0.0%	4.8%	2.9%	100.0%
3年	58.7%	35.6%	0.0%	2.9%	2.9%	100.0%
4年	46.4%	48.5%	0.0%	5.2%	0.0%	100.0%
5年	37.5%	55.7%	0.0%	1.1%	5.7%	100.0%
6年	33.3%	59.6%	0.0%	4.0%	3.0%	100.0%
全体	50.7%	42.6%	0.0%	3.3%	3.3%	100.0%
保護者	29.3%	49.5%	17.6%	3.3%	0.3%	100.0%
職員	30.3%	66.7%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「やる気をもって楽しく取り組んでいる (A+B)」児童は93.3%で、昨年度とほぼ同じ結果となり、子どもたちは意欲的に学習していると感じていると考えます。教職員は、97.0%で、ほぼ全ての職員が学習意欲を引き出す努力ができていますと考えています。コロナ禍が終わり、以前の学校生活を取り戻す中、落ち着いて学習する環境を取り戻す事ができた結果と思われる。「学習に意欲的に取り組んでいると感じる」保護者は78.8%でしたが、「学習に意欲的に取り組んでいない (C+D)」保護者が20.9%いました。また、「やる気をもって楽しく取り組んでいない」子どもも約3.3%いました。これらの子どもの学習意欲を向上させるために、学ぶ楽しさを感じる授業づくりの工夫が課題であると考えます。

- ③ 【児】授業の内容がよく分かりますか。
 【保】先生はわかりやすい授業となるように務めていると思いますか。
 【職】わかりやすい授業を工夫していますか。

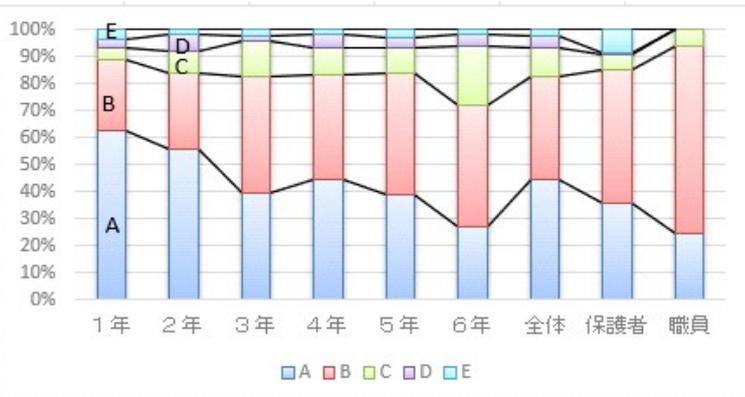
3	A	B	C	D	E	
1年	59.1%	25.2%	6.1%	3.5%	6.1%	100.0%
2年	53.6%	33.6%	1.8%	6.4%	4.5%	100.0%
3年	51.8%	40.0%	5.5%	0.9%	1.8%	100.0%
4年	54.3%	38.1%	5.7%	1.0%	1.0%	100.0%
5年	46.2%	47.2%	3.8%	0.9%	1.9%	100.0%
6年	56.5%	34.3%	7.4%	1.9%	0.0%	100.0%
全体	53.7%	36.2%	5.0%	2.4%	2.6%	100.0%
保護者	47.4%	40.7%	1.8%	0.2%	9.9%	100.0%
職員	30.3%	63.6%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%



「授業内容が分かる (A+B)」児童は89.9%、保護者は88.1%であり、ともに昨年度のアンケート結果をわずかに下回りました。特に、児童は3年～6年では90%を超えていますが、低学年では「よくわからない」「わからない」と答えた児童の比率が1割近くいました。教職員は、93.9%が学習課題、発問、学習内容などわかりやすい授業づくりの工夫に取り組んでいると回答していました。学年の実態に応じた指導方法を工夫し、楽しく、よく分かる授業づくりに全教職員が共通意識をもって、さらに力を入れて取り組んでいきたいと考えます。

- ④ 【児】友達の発言をよく聴いたり自分の考えを発言したりして、話し合いに参加していますか。
 【保】話し合いやかかわり合いを通して、学び合いが見られると感じますか。
 【職】話し合いやかかわり合いを通して、考えを広めたり深めたりする学び合いを重視していますか。

4	A	B	C	D	E	
1年	62.6%	26.1%	4.3%	3.5%	3.5%	100.0%
2年	55.5%	28.2%	8.2%	6.4%	1.8%	100.0%
3年	39.6%	43.2%	12.6%	1.8%	2.7%	100.0%
4年	44.3%	38.7%	10.4%	4.7%	1.9%	100.0%
5年	38.7%	45.3%	9.4%	3.8%	2.8%	100.0%
6年	27.0%	45.0%	21.6%	4.5%	1.8%	100.0%
全体	44.8%	37.6%	11.1%	4.1%	2.4%	100.0%
保護者	35.8%	49.2%	5.8%	0.6%	8.6%	100.0%
職員	24.2%	69.7%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%

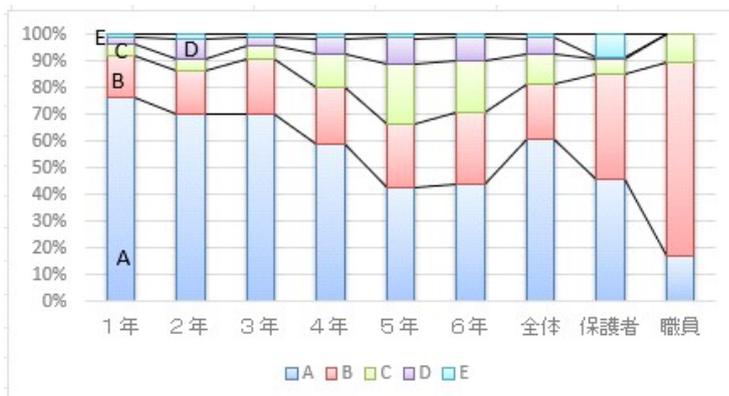


「話し合いの授業に参加している」児童が82.4%、「学び合いが見られる」と回答した保護者は85.0%でした。教職員は、93.9%がかかわり合い、学び合う学習を重視して授業に取り組んできたと答えており、教職員と保護者のとらえ方と子どもたちの感じ方に差が見られました。学びの主体である子どもたち自身が、「話し合って学ぶことが楽しい」「自分の意見を聞いてほしい」「友達の考えを聞いてみたい」と思うことのできる授業づくりを進めていかねばならないと考えます。

2 たくましく健康な体力の育成 【向 上】

- 【児】 体育の授業や長放課などで、進んで体を動かしていますか。
- ⑤ 【保】 先生は、体育の授業や長放課などで、体を動かす機会を確保していると思いますか。
- 【職】 子どもの体力向上のために、体育の授業や長放課などで、体を動かす機会の確保に努めていますか。

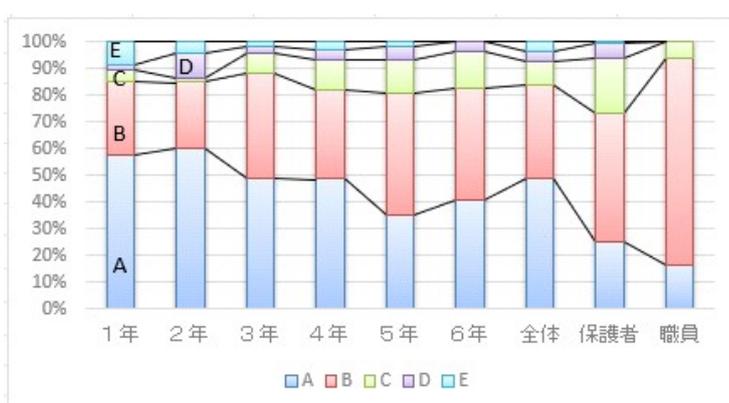
5	A	B	C	D	E	
1年	76.5%	15.7%	4.3%	2.6%	0.9%	100.0%
2年	70.3%	16.2%	4.5%	7.2%	1.8%	100.0%
3年	70.3%	20.7%	4.5%	3.6%	0.9%	100.0%
4年	59.0%	21.0%	12.4%	6.7%	1.0%	100.0%
5年	42.5%	23.6%	22.6%	10.4%	0.9%	100.0%
6年	43.6%	27.3%	19.1%	9.1%	0.9%	100.0%
全体	60.6%	20.7%	11.1%	6.5%	1.1%	100.0%
保護者	46.0%	38.8%	5.9%	0.8%	8.5%	100.0%
職員	17.2%	72.4%	10.3%	0.0%	0.0%	100.0%



「体力向上をめざした取組」については、児童は81.3%、保護者は84.8%、教職員は81.2%でした。児童と教職員で、昨年度を上回りました。これは、学校生活での制限が徐々に減り、以前の学校生活を取り戻す中で、体育の授業や放課など、外遊びの機会が増えた結果だと考えます。また、記述欄には、「長放課の時に友達とドッジボールをしているようです。先日、先生も一緒に遊んでくれたと喜んでいました」「インフルエンザで学年閉鎖があったりと、子どもたちの体力不足が気になります」などのご意見もありました。安全に体力向上に取り組めるような手立てを工夫し、児童の体力向上への意識をさらに高め、体力低下にならない取り組みを工夫して進めていきたいと考えます。

- 【児】 体を動かすことやバランスのとれた食事をするなど、自分の体力や健康に気をつけて生活していますか。
- ⑥ 【保】 お子さんは、体を動かすことやバランスのとれた食事をするなど、自分の体力や健康に気をつけて生活していると思いますか。
- 【職】 体力向上に関する指導や食に関する指導などを行い、児童の体力向上や健康増進のために努めていますか。

6	A	B	C	D	E	
1年	57.5%	27.4%	4.4%	1.8%	8.8%	100.0%
2年	59.8%	25.0%	1.8%	8.9%	4.5%	100.0%
3年	48.6%	39.6%	7.2%	2.7%	1.8%	100.0%
4年	48.6%	33.3%	11.4%	3.8%	2.9%	100.0%
5年	35.2%	45.7%	12.4%	4.8%	1.9%	100.0%
6年	40.5%	42.3%	13.5%	3.6%	0.0%	100.0%
全体	48.6%	35.5%	8.4%	4.3%	3.3%	100.0%
保護者	25.1%	48.4%	20.5%	5.5%	0.5%	100.0%
職員	16.1%	77.4%	6.5%	0.0%	0.0%	100.0%

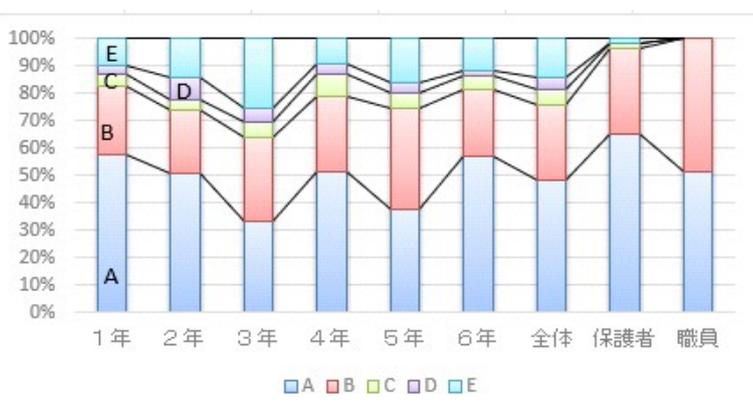


「児童の規則正しい生活習慣や健康面への意識」については、「できている」が、児童は73.7%、保護者は73.5%、教職員は90.6%でした。教職員と児童及び保護者の捉え方に差があることから、さらに生活習慣が定着するよう、家庭での生活習慣が大きく影響する項目であるので、家庭と連携しながら健康面への意識を高めていきたいと考えます。

3 思いやりの心、豊かな心の育成 【協 同】

- ⑦ 【児】 先生はあなたのよいところを認めていると思いますか。
 【保】 先生はお子さんのよいところを認めていると感じますか。
 【職】 児童一人一人のよいところを認める支援に努めていますか。

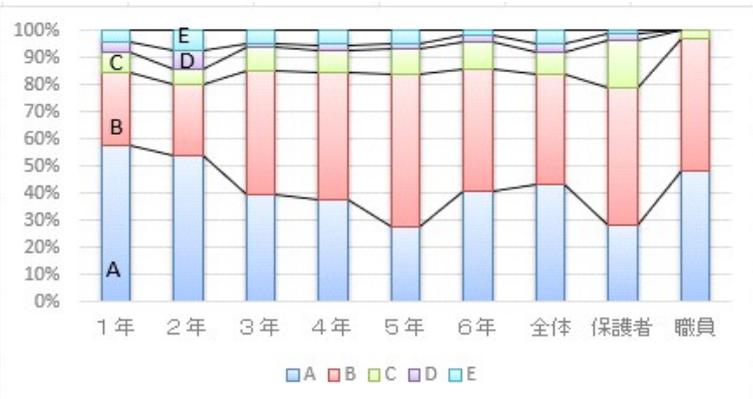
7	A	B	C	D	E	
1年	57.9%	24.6%	4.4%	3.5%	9.6%	100.0%
2年	50.9%	23.2%	3.6%	8.0%	14.3%	100.0%
3年	33.3%	30.6%	5.4%	5.4%	25.2%	100.0%
4年	51.4%	27.6%	7.6%	3.8%	9.5%	100.0%
5年	37.7%	36.8%	5.7%	3.8%	16.0%	100.0%
6年	56.8%	24.3%	5.4%	1.8%	11.7%	100.0%
全体	48.1%	27.8%	5.3%	4.4%	14.4%	100.0%
保護者	65.0%	31.5%	1.7%	0.3%	1.5%	100.0%
職員	51.5%	48.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「先生がよいところを認めてくれる」と回答した児童は75.9%、保護者は96.5%、教職員は100%でした。児童の14.4%が「わからない」と回答していることや、「認めてくれていると感じていない児童」が9.7%いることが課題であると思われます。教師の意識はしっかりと認めていると感じているものの、子どもたちはもっと自分たちのよいところを見てほしい、認めてほしいと願っていることが分かります。子どもたちが、先生に認められていると感じることができるよう、子どものよいところを具体的にほめる指導、子ども一人一人を大切にしている指導を充実させるとともに、温かい学校づくりを進めていきたいと考えます。

- ⑧ 【児】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いできていますか。
 【保】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いできるようになってきていると感じますか。
 【職】 あいさつや返事、丁寧な言葉遣いできるように指導していますか。

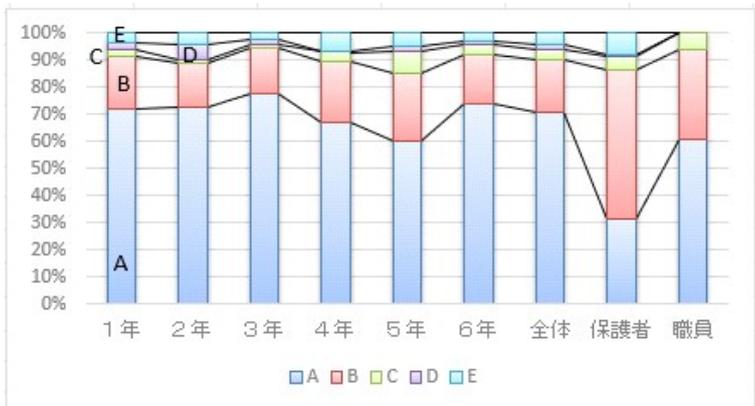
8	A	B	C	D	E	
1年	57.9%	26.3%	7.9%	3.5%	4.4%	100.0%
2年	54.1%	26.1%	5.4%	7.2%	7.2%	100.0%
3年	39.4%	45.9%	8.3%	1.8%	4.6%	100.0%
4年	37.5%	47.1%	7.7%	2.9%	4.8%	100.0%
5年	27.4%	56.6%	9.4%	1.9%	4.7%	100.0%
6年	40.9%	44.5%	10.0%	2.7%	1.8%	100.0%
全体	43.1%	40.8%	8.1%	3.4%	4.6%	100.0%
保護者	28.0%	50.8%	17.6%	2.3%	1.4%	100.0%
職員	48.5%	48.5%	3.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「あいさつ、返事、丁寧な言葉遣い」については、児童は83.9%、保護者は78.8%、教職員は97.0%であり、ほぼ昨年度と同じ結果でした。児童の数値が比較的高いのは、児童会主催のあいさつ運動や通学団でのあいさつ運動などの成果であると考えられます。教職員の共通理解の下、あいさつや返事、丁寧な言葉遣いを重点課題として、教師による日々の声かけや、児童会活動の充実などをさらに図っていきたいと考えます。また、地域の方のご協力もいただきながら、子どもたちの意識を高めていきたいと考えます。

【児】先生は、命の大切さや思いやりの大切さを教えてくださいますか。
 ⑨ 【保】学校は、さまざまな教育活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育てていると感じますか。
 【職】さまざまな教育活動を通して、命の大切さや思いやりの心を育てていますか。

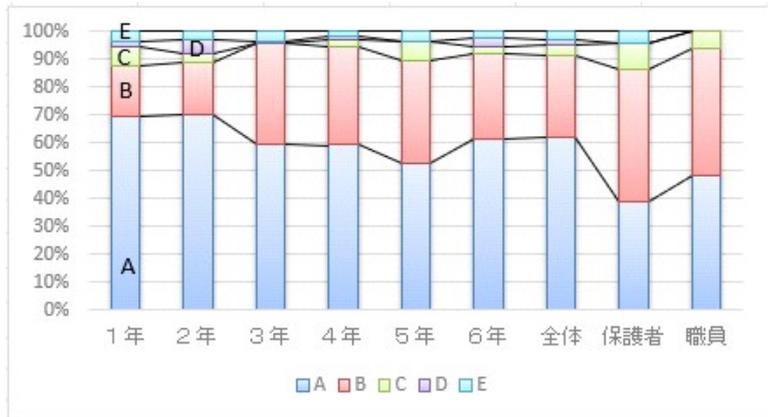
9	A	B	C	D	E	
1年	71.9%	19.3%	2.6%	2.6%	3.5%	100.0%
2年	72.7%	16.4%	0.9%	5.5%	4.5%	100.0%
3年	77.5%	17.1%	0.9%	1.8%	2.7%	100.0%
4年	66.7%	22.9%	3.8%	0.0%	6.7%	100.0%
5年	60.4%	24.5%	8.5%	1.9%	4.7%	100.0%
6年	73.6%	18.2%	3.6%	1.8%	2.7%	100.0%
全体	70.6%	19.7%	3.4%	2.3%	4.1%	100.0%
保護者	31.4%	54.8%	5.0%	0.6%	8.2%	100.0%
職員	60.6%	33.3%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%



「命の大切さや思いやりの心の育成」については、児童は90.3%、保護者は86.2%、教職員は93.9%が「できている」と答えていました。道徳の授業を大切にする取組や、毎月の全校集会での講話、音楽集会やお茶会などを通して、児童の豊かな心の育成につながっていると思われます。学校教育活動全体を通じて情操を豊かにする指導をさらに充実させていきたいと考えます。

【児】「ありがとう」「ごめんなさい」をすなおに言ったり、友達と協力したりできていますか。
 ⑩ 【保】お子さんは、周りの人に「ありがとう」を伝えていると思いますか。
 【職】「ありがとう」の言葉あふれる、温かな学級づくりに努めていますか。

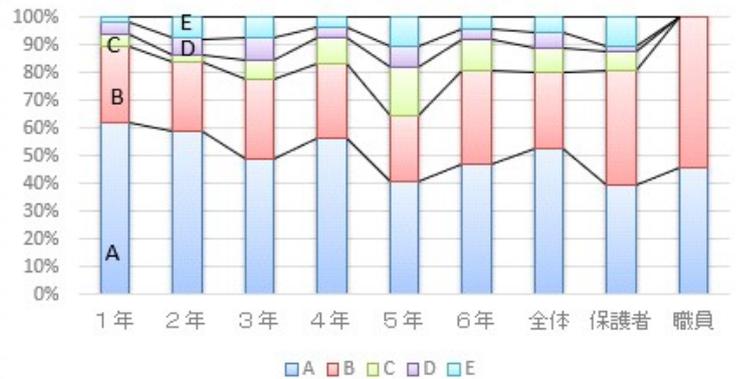
10	A	B	C	D	E	
1年	69.3%	18.4%	7.0%	1.8%	3.5%	100.0%
2年	70.0%	19.1%	2.7%	5.5%	2.7%	100.0%
3年	59.5%	36.0%	0.0%	0.9%	3.6%	100.0%
4年	59.4%	34.9%	2.8%	0.9%	1.9%	100.0%
5年	52.8%	36.8%	6.6%	0.0%	3.8%	100.0%
6年	61.3%	30.6%	2.7%	2.7%	2.7%	100.0%
全体	62.2%	29.2%	3.6%	2.0%	3.0%	100.0%
保護者	38.7%	47.6%	9.3%	0.3%	4.1%	100.0%
職員	48.5%	45.5%	6.1%	0.0%	0.0%	100.0%



「感謝の気持ちを素直に表す態度」については、「できている」と答えている児童は91.4%、保護者は86.3%、教職員は94.0%で、きちんと身に付いていると考える割合は非常に高い結果になりました。「ありがとう」「ごめんなさい」といった集団生活で大切にすべき言葉を自然に口にする姿も多く見られます。仲間の気持ちを大切に、さらに「ありがとう」あふれる温かい学級となるよう、授業づくりの基盤となる学級づくりを進めていきたいと考えます。

- ⑪ 【児】 困った時などに相談しやすい先生がいますか。
 【保】 児童や保護者の相談にのってくれる職員がいますか。
 【職】 児童や保護者の相談に親身になって取り組んでいますか。

11	A	B	C	D	E	
1年	61.9%	27.4%	4.4%	4.4%	1.8%	100.0%
2年	59.1%	24.5%	2.7%	6.4%	7.3%	100.0%
3年	48.6%	28.8%	7.2%	8.1%	7.2%	100.0%
4年	56.6%	26.4%	9.4%	3.8%	3.8%	100.0%
5年	41.0%	23.8%	17.1%	7.6%	10.5%	100.0%
6年	47.3%	33.6%	10.9%	3.6%	4.5%	100.0%
全体	52.5%	27.5%	8.5%	5.6%	5.8%	100.0%
保護者	39.4%	41.3%	6.8%	2.0%	10.5%	100.0%
職員	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

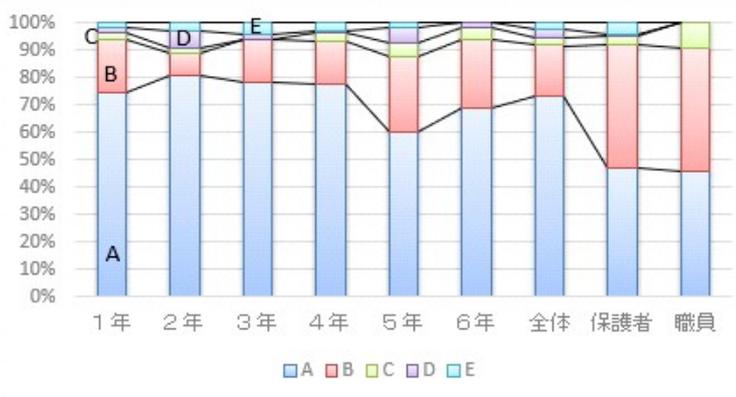


「相談にのってくれる先生がいる」と感じている児童は80.0%、保護者は80.0%、教職員は100%でした。また、記述欄に「毎日忙しい日々の中、楽しい学校生活をおくれるように見守っていただきありがとうございます。」「すべての項目に満点はないと思いますが時間のない忙しい中、いろんなことに配慮していただきありがとうございます。」などの意見があったのはとてもうれしいことでした。普段から児童の様子を温かく見守り、こまめに声かけをしていること、「生活アンケート」を受けた相談活動を確実にやり、素早い対応をしてきたこと、毎学期面談週間を設定し、担任との面接を行ってきたことなどの成果であると考えます。しかし、「相談しやすい先生がいない」と感じている児童が14.1%、保護者が8.8%いました。記述欄に「相談したいときに誰に相談したらいいかわからない」といった意見もありました。児童、保護者の回答が100%になるよう、児童に寄り添った誠実な指導をしていくとともに、「困ったときにいつでも相談できる体制づくり」をさらに進めていきたいと考えます。

4 安心安全な学校づくり・開かれた学校づくり 【自 重】

- ⑫ 【児】 交通安全や不審者に気をつけて登下校していますか。
 【保】 学校は、交通安全、防災、防犯など児童の安全を守る活動に努力していると感じますか。
 【職】 交通安全や事故防止、防犯・防災の意識を高めるように指導していますか。

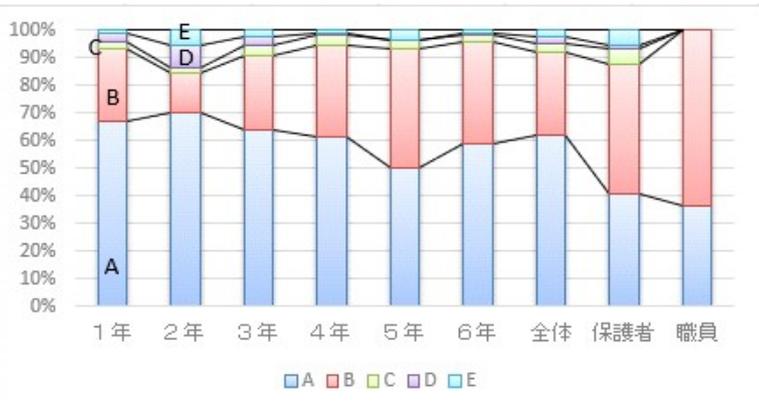
12	A	B	C	D	E	
1年	74.6%	19.3%	2.6%	1.8%	1.8%	100.0%
2年	80.9%	8.2%	1.8%	6.4%	2.7%	100.0%
3年	78.4%	15.3%	0.0%	1.8%	4.5%	100.0%
4年	77.4%	16.0%	2.8%	0.9%	2.8%	100.0%
5年	60.0%	27.6%	4.8%	5.7%	1.9%	100.0%
6年	69.1%	24.5%	4.5%	1.8%	0.0%	100.0%
全体	73.5%	18.4%	2.7%	3.0%	2.3%	100.0%
保護者	47.0%	44.9%	3.3%	0.5%	4.3%	100.0%
職員	45.5%	45.5%	9.1%	0.0%	0.0%	100.0%



「登下校の安全や防災・防犯への意識」については、児童は91.9%、保護者は91.9%、教職員は91.0%と、高い数値でした。毎週の一斉下校、長期休業前の安全指導などを始め、機会をとらえて「自分の命は自分で守る」を合言葉に安全指導を継続してきた成果であると考えます。「登下校の見守り指導や、時間変更対応での連絡等での絆ネットの配信など、細やかな対応をしていただいていると思います」などのご意見もありました。また、通学路の危険箇所に関する意見もありました。命に直結する項目であるので、100%に近づけるよう、さらに意識を高めていきたいと考えます。

- ⑬ 【児】 そうじをみんなと協力してしっかりやっていますか。
 【保】 学校は、安全で清潔な学校生活を送れる学習環境となっていますか。
 【職】 清掃活動の充実、学校内外の安全点検や整備の充実が図られるように指導していますか。

13	A	B	C	D	E	
1年	66.7%	26.3%	2.6%	3.5%	0.9%	100.0%
2年	70.3%	14.4%	1.8%	8.1%	5.4%	100.0%
3年	64.0%	27.0%	3.6%	2.7%	2.7%	100.0%
4年	61.3%	33.0%	3.8%	0.9%	0.9%	100.0%
5年	50.0%	43.4%	2.8%	0.0%	3.8%	100.0%
6年	58.6%	36.9%	2.7%	0.9%	0.9%	100.0%
全体	61.9%	30.0%	2.9%	2.7%	2.4%	100.0%
保護者	40.6%	47.1%	5.6%	1.2%	5.5%	100.0%
職員	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%



「施設管理・安全への配慮」については、児童は91.9%、保護者は87.7%、教職員は100%と高い数値で、学校が施設管理をきちんとし、安全への配慮をしていると考えています。今後も、子どもたちが安心、安全で清潔な学校生活を送れるようにしていきたいと考えます。

〈文責：教頭 國島 健史〉